

第五回人文知応援大会 大会宣言

2025年2月23日
(一社)人文知応援フォーラム

先を見通すことのできない社会変動の中で、AI取り分け生成AI(人工知能)の驚異的な進化が、一方で利便さの更なる向上への期待を生むとともに、他方で人間性の将来に対する懸念を招いている。

ここで我々が留意すべきは、AIシステムの今後の更なる開発・運営が、人間にとって好ましい目的(その価値観や倫理感に適合した目的)に向かって最善の道を歩んでいく仕組みをつくること(AIアライメント)であることは言うまでもない。

そこではAIが人間から言語によって与えられたタスクを単なる情報としてではなく、そこに含まれる人間の身体性や社会性、集団的知能を含む「概念」として「理解」し、人間の「意図」を正しく把握することができるか否かが鍵となる。それは科学やテクノロジーと、人間が積み上げてきた知の融合がどこまで可能であるかの問題であり、ここに「人文知」が果たしうる役割を見ることができる。

従ってAIの適切な作動を確保し共存していくためには、人間自身もまた自らの課題に真剣に取り組まねばならない。それは「人間とは何か」、「どう生きるべきか」、「真の幸せとは何か」という究極の問いに答えるべく、先達が長い歴史の中で積み上げてきた学問、古典、芸術その他の叡智の総合(すなわち人文知)を吸収し、そこから得られるヒントを社会に浸透させることである。

ここに改めて人文知の普及を目的とする当フォーラムの使命の重要性を自覚し、一層の努力を継続していくことを宣言する。